

## 会議録

会議名 (審議会等名)	第5期第9回相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通)		
開催日時	令和2年1月28日(火) 10時00分~12時04分		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	16人(南区長、副区長、他14人)	
公開の可否	可	不可	一部不可
		傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 会議の公開について</p> <p>3 報告 (1) 無作為抽出型区民討議会の結果について</p> <p>4 議題 (1) 地域活動スポット参加の仕組みづくりについて</p> <p>5 その他 (1) 第6回 More 輝区~南区アイデアコンペ~について</p> <p>6 閉会</p>		

## 審議経過

主な内容は、次のとおり。( は会長、 は委員、 は事務局等の発言)

### 1 開会

### 2 会議の公開について

#### (1) 傍聴の許可について

傍聴希望者なし

長谷川区長、松下会長のあいさつの後、議事が進められた。

### 3 報告

#### (1) 無作為抽出型区民討議会の結果について

資料に基づき事務局から報告。

討議会については長時間であったが、参加者みんなで楽しく時を過ごしたという印象である。南区若者参加プロジェクトの運営が素晴らしかった。討議も活発であり、勉強になった。

○当日参加したグループは、若い世代が比較的多く、インスタグラムの活用などの意見があり、限られた時間の中では十分なアイデアが出されたと感じている。しかしながら、最終的な目的であるまちづくりへの参加、または、世代間交流という点では、果たして正解だったのかとも思うが、初めて会った人が、初めて話したので、検討できることも限られる。

○参加者同士で偶然の懐かしい再会があったようで、無作為抽出ならではのことであった。

○アンケートの結果を見ると、参加者が満足したようで良かった。無作為抽出で通知が届き、良い機会だと思ったという方が26名、無作為で選ばれたという主旨に感動したという方が4名で、参加者の約8割の人が、このようなきっかけを新鮮に感じて集まっていた。そして、次も参加したいという方が約9割ということで、とても良い機会になった。

自分から手を挙げて、参加することはなかなか難しいので、通知が来て、それに後押しされて参加するというのが無作為抽出の強みである。

自治会活動をしているが、地域活動を行う内容の工夫などがとても参考になった。アイデアの中で「自治会の予算を各世代に配分して、各世代同士で話し合って配分された予算を使って地域活動を行う」については、発想の転換であり、とても考えつかないようなものであ

り驚いた。もしこのようなやり方をするのであれば、各世代のリーダー的な人が自治会の中に入り、取り組んでいかななくてはならない。

愛知県新城市では若者に予算提案権を与え、出番を作っており、おもしろいと思って参加する人がいる。考える機会や出番を作って、権限と責任を持ってもらうことが重要である。

様々な立場の人の意見を聞くことができ非常に参考になった。

討議会では、若い世代が多く話題を提供していた。普通の会議では若い世代は話さないことが多いが、この討議会は若い人が活発に話すということが印象的であった。

この討議会の結果をさらに分析したり、うまく活用したり、今後の取組のヒントにしていきたいと思う。

#### 4 議題

##### (1) 地域活動スポット参加の仕組みづくりについて

資料に基づき事務局から説明。会長の発言のあと、ワークショップを実施。

問題意識として、地域活動やボランティア活動に参加する人が減ってきている傾向がある。一つは、70歳まで働くというような時代になってきているので、ますます参加する機会が減ってくる。そのため、何とか区民の人たちが参加する方法を考えたい。もう一つの世の中の大きな流れとして、オルソン問題がある。要するに、人が行うことにただ乗り（フリーライダー）し、自分でやることは損だという考え方である。そのような風潮を否定しているだけでは仕方がないので、できる範囲でまちづくりに関わっていく仕組みを考えていきたい。特に相模原市は、30代の人たちが減ってきているまちなので、それらの働く世代・子育て世代がスポットで参加できるきっかけを作っていく。

前回の会議でもワークショップを行って課題を洗い出したが、非常に大きな問題であるため、まずは、地域活動を知ってもらうことから取り組んでいきたい。今回は、スマートフォンなどが普及していることから、チラシではなく動画の作成を検討する。ワークショップでは、主にどのような活動を紹介することが良いか、放映場所や撮影方法などについてアイディアを出していただきたい。

#### 【グループワークでの主な意見】

##### (A班)

・撮影対象は、ストリートミュージシャンなども含めてはどうか。

- ・動画は、長過ぎると面倒になって見ないことや、変わり映えがないと飽きてしまう、あるいは、全然自分に関係がないと興味がなく、見るという行為には至らないと思う。そのため、地域の人をピックアップするような幅広く関係するような動画を撮影することや、口コミで動画を見てもらうよう促していくことが必要であると思う。
- ・放映場所は、例えば、駅のデッキに大きなモニターみたいなものがあって、視界に入ってくるような場所などが良い。また、南区の公式ラインやインスタグラムを運営し、気軽に地域の人々がハッシュタグで自由に投稿できるものも良い。

( B 班 )

- ・事業内容は、まちづくり会議などで検討してもらうことも良いと思う。
- ・撮影対象は、小学校の行事のお手伝い、昔遊び、鼓笛隊、清掃活動、お祭り、福祉活動、自治会でやっているものを募集するというアイデアが挙がった。
- ・放映場所は、DVDを作成して貸出、ホームページ、交流センター、ラウンジ、神奈中バスのモニター、ツイッター広告、YouTubeなどのアイデアが挙がった。
- ・撮影方法は、さがまちコンソーシアムに「さがまち学生Club」という団体があり、そこでは、集まった学生が色々な動画を撮っている。また、地域の同好クラブを活用してみてもというアイデアが挙がった。
- ・撮影の依頼をかける際は、区長名で依頼をかけるのと協力してくれる方が増えると思う。

( C 班 )

- ・撮影内容については、お祭りや芋煮会などのイベントが参加しやすい地域活動と思われるので、そのような楽しいイベントを紹介すると良い。
- ・撮影方法は、若者の視点から見て、捉えて撮影し、編集も若者にしてもらうことによって、まさに若者の感覚から動画が作成できる。
- ・インターネット上などで放映する場合、若者が引き付けられ、アクセスするかが疑問であるため、むしろ、保育園、幼稚園、児童館、学校などでの放映も大切であると思う。他にも、駅の掲示板、神奈中バスのモニターなどもアイデアが出たがお金がかかるので難しいかもしれない。
- ・動画よりデジタルサイネージが良いという意見や、人づての紹介が参加者を募集することに有効であり、登録制などによって人が集まってくることも重要という意見が挙がった。
- ・その他に、キャラクターが強調された南区のアイコンなどが必要ではないかという意見もあ

った。

(南区役所各まちづくりセンター所長)

- ・地域貢献度の大小や自己実現、場合によっては自己満足度の大小によって参加者が変わってくると思う。
- ・周知方法の工夫に関して、例えば、子ども食堂を対象としたときに、参加している子どもたちの生き生きとした表情とともに、料理を作っている側の生き生きとした表情も入れることによって、料理を作っていることで自分たちも嬉しい気持ちになるということが伝わる映像が必要である。
- ・周知場所は、人々が目にするようなところで、いかに映像あるいは紙でお知らせをすることができるかが課題である。
- ・周知の手法としては、費用対効果を除けばポスティングということも考えられる。
- ・地域活動スポット参加については、運営主体がしっかりしていることが重要である。スポットで参加するということであれば、その人がどういう人かわからない。例えば、スキルの有無や意識の高低などがわからない中、全部を受け入れられるような運営主体でないと、厳しいと思う。

## 5 その他

(1) 第6回More輝区～南区アイデアコンペ～について

南区若者参加プロジェクト実行委員会から資料に基づき説明。

(2) その他

- ・会長から相模女子大学で開催するフォーラムについて情報提供。
- ・委員から「さがみはら地域づくり大学」について情報提供。
- ・委員から「おださがさくら祭り」について情報提供。
- ・事務局から次回の会議日程について、令和2年3月中下旬に開催する旨報告。

## 6 閉会

坂本副会長の挨拶のあと、閉会

## 相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	出欠席
1	安藤 晴 敏	公募委員	出席
2	飯村 和 道	女子美術大学芸術学部 名誉教授	欠席
3	井部 弥 生	相模原市民文化財団 総務課長	出席
4	大木 恵	大野南地区まちづくり会議 会長	出席
5	大坂 理 智	南区若者参加プロジェクト実行委員会	欠席
6	金森 巖	相模原・町田大学地域コンソーシアム 業務部部長補佐	出席
7	牧野 里 咲	ジェイコムイースト相模原・大和局	出席
8	草薙 喜 義	相模原市社会福祉法人経営者協議会 会長	出席
9	九嶋 俊 彦	相模原青年会議所 常任理事	欠席
10	坂本 堯 則	相模原市自治会連合会 会長	出席
11	佐田 昌 史	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事	出席
12	篠塚 実希子	相模台地区まちづくり会議 副会長	出席
13	杉本 祥 一	相模原商工会議所 常議員	欠席
14	鈴木 貴 市	相模原南交通安全協会 会長	出席
15	瀬尾 守 一	相武台地区まちづくり会議 会長	出席
16	田中美 加	北里大学看護学部 教授	欠席
17	中島 勝 平	麻溝地区まちづくり会議 会長	出席
18	中島 千 尋	相模原市地区社会福祉協議会南区連絡会	出席
19	原田 征 士	公募委員	出席
20	古木 昇	東林地区まちづくり会議 会長	出席
21	古田 政 子	子育て親育ち応援団with.cfc 副代表	欠席
22	穂苅 健 二	新磯地区まちづくり会議 会長	出席
23	松下 啓 一	相模女子大学夢をかなえるセンター エグゼクティブアドバイザー	出席
24	森 逸 雄	大野中地区まちづくり会議 会長	出席
25	横山 真 琴	公募委員	出席